

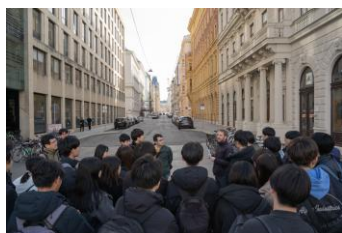
持続可能な都市モビリティのデザインに関する国際ワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年03月21日 ～2025年03月28日	オーストリア	ウィーン工科大学	・土木工学科、先進国際課程、社会基盤学専攻 ・学部1～4年生、修士1～2年生、博士1～3年生	(芝浦工業大学) 学生22名、 学生バイト5名、 教員1名 (ウィーン工科大学) 学生2名、 教員3名	桑 寿平 (土木工学課程都市・環境コース)



集合写真

ウィーン工科大学にて「持続可能な都市モビリティのデザイン」をテーマとしたグローバルPBLを実施した。土木工学科および先進国際課程の学生に加え、現地学生も参加し、Station Arne-Karlsson-Park周辺地域を対象に4班に分かれて課題解決型の提案活動を行った。各班は現地調査を通じて得られた課題に対し、道路空間の再構築を含む空間整備案を具体的な数値を用いて検討した。活動を通じて、ウィーンにおける自転車道やトラムの走行環境など、交通手段の多様性と高度なインフラ整備に触れ、日本との違いを実感した。また、計画立案におけるトレードオフや利害調整の難しさを経験し、都市全体の最適解を追求する姿勢の重要性を学んだ。短期間ながら、異なる都市課題に向き合い、持続可能な都市づくりについて主体的に考える貴重な機会となった。



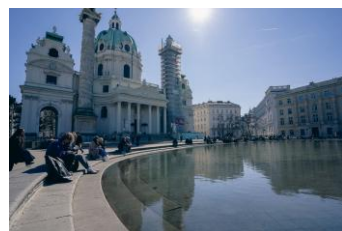
現地調査①



現地調査②



発表時の様子



大学前の広場



シェーンブルン宮殿



Cultura day@Schonbrunn palace